

## 平成23年度 天白区区政運営方針 取組実績

平成23年度天白区区政運営方針に掲げた事業・取組みについて、その達成状況を4段階で評価しました。平成24年度の事業・取組みにこの結果を活かし、区民の皆様と協働で、いつまでも住み続けたい天白区をめざして、努力してまいります。

### ◇評価基準

評価	評価基準
評価A	目標(計画)を上回る成果があがった
評価B	目標(計画)どおりの成果があがった
評価C	目標(計画)を下回る成果にとどまった
評価D	計画を実施できなかった

### ◇達成状況

施策の柱	A	B	C	D	計
1 安心・安全で快適なまちづくり	5	10	5	1	21
2 人にやさしいぬくもりのあるまちづくり	3	18	1	0	22
3 自然を活かし、環境にやさしいまちづくり	0	8	3	1	12
4 にぎわい、交流と絆を創出するまちづくり	4	13	4	1	22
5 親しまれ、信頼される区役所づくり	7	6	1	0	14
合 計	19	55	14	3	91

区政運営方針に対するご意見・ご提案をお寄せください。今後の区政運営に活かしてまいります。

天白区役所企画経理室（区役所3階35番窓口）  
〒468-8510 名古屋市天白区島田二丁目201番地  
電話：052-807-3953 FAX：052-801-0826  
電子メールアドレス：a8073951@tempaku.city.nagoya.lg.jp  
<http://www.city.nagoya.jp/tempaku/>



# ◇各事業・取組みの成果と目標の達成状況

## 施策1 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり

### (1) 地域防災力の強化

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 避難所リーダーステップアップ講座の開催（総務課）</p> <p>避難所リーダー養成講座第5期までの修了者及び災害対策委員、学区防災担当者等を対象としたステップアップ講座を開催します。また、リーダーを中心とした各学区相互の交流と情報の共有化を図ります。 受講生の満足度の向上を図るとともに、修了生が講座で学んだ知識や経験を地域に還元できるように、地域防災組織等における講座修了者の活動を支援します。</p> <p>【目標】 ・これまでの5年間の養成講座の経験を踏まえ、避難所運営事例研究など実践的な内容の講座を実施して、地域防災力を高めます。</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・5回開催し179名が参加し（内訳：避難所リーダー168名、区政協力委員11名）、リーダー相互の意見交換や情報の共有が図られました。</p> <p>・参加者アンケートでは「大変勉強になり、有意義な講座だった。今後、役立つようにしたい。」「今後も継続していろいろな情報を流してほしい」など、受講者の感想は概ね好評でした。</p> <p>・学区防災訓練で避難所リーダーが役割を持って活躍している学区が増えつつありますが、まだ、これからという学区もあり今後も支援を続けていきます。</p>
<p>2 地域防災力強化に係る区民参加事業の開催（総務課）</p> <p>地震などの大規模な災害が発生した場合、被害を出来る限り軽減し、災害の拡大を防ぐためには、地域のみなさんの自主的な防災活動が不可欠であり、地域と行政が力を合わせて災害に立ち向かわなければなりません。 防災の基本理念である自助・共助の精神に基づき、一人でも多くの市民が必要な知識や技術を身につけ、災害に強いまちづくりをめざして、区民を対象とした防災講演会（仮称）を開催します。</p> <p>【目標】 ・役に立つ防災対策の知識を幅広く区民のみなさまに知っていただき、学区、地域、家庭での防災対策の取組みを強化します。</p>	<p><b>評価C</b></p> <p>・講演会のアンケート結果によると、回答者33名のうち27名が「講演会は参考になった」と回答しています。また、会場展示（東日本大震災被災地の写真、防災グッズ、非常持ち出し品など）について27名が「興味深く見ることができた」と回答しています。</p> <p>・参加者が90名と目標150名を下回りました。今後は、参加者をより多く集めるためのPRが課題です。</p>
<p>3 助け合いの仕組みづくり（共助）への支援（総務課）</p> <p>区総合防災訓練や総合水防訓練、避難所リーダーステップアップ講座、地域における自主防災訓練などの機会をとらえ、近隣住民相互で助け合う仕組みについての広報に努めます。 助け合いの仕組みづくり採用に向けて既に動き始めている地域については、最終段階である訓練実施段階まで到達できるように個別に支援します。</p> <p>【目標】 ・全ての学区において、助け合いの仕組みづくりの取組みが具体的に始められるよう働きかけます。</p>	<p><b>評価C</b></p> <p>・区総合水防訓練や避難所リーダーステップアップ講座、各学区の自主防災訓練などで「助け合いの仕組みづくり」の広報を行いました。</p> <p>・学区自主防災訓練では、実際に声を掛け合って避難する訓練が行われました。</p>
<p>☆ 市民参画による治水（天白川・植田川水系治水検討委員会）（まちづくり推進室）</p> <p>「天白川・植田川水系治水検討委員会」において円滑な議論が進むよう、区民のみなさんと関係機関とのパイプ役を果たすなど、委員会の活動を支援します。</p> <p>【目標】 地域住民の意見が、天白川・植田川の治水に反映されるようにします。</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・平成23年度より、愛知県にて天白川（野中橋～菅田橋間）改修工事の着手にあわせ、治水検討委員会を6月、10月の2回開催し、関係学区への工程説明の場を提供するとともに、円滑な工事進捗に貢献しました。</p>

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
☆ 総合防災訓練・総合水防訓練の改善（総務課）	<b>評価D</b>
<p>区総合水防訓練や区総合防災訓練などの機会をとらえて、区本部立ち上げ初動訓練を実施します。全職員にマニュアルを配布し、区災害対策本部の各班(課・室)ごとの研修を実施します。</p> <p>【目標】 ・職員アンケートによる理解度100%</p>	<p>・総合水防訓練は雨天のため、体育館での実施となり、区本部立ち上げ初動訓練を実施することができませんでした。</p> <p>・大規模地震災害発生時区職員行動マニュアルを作成準備しましたが、完成までにはいたらず、職員への配布及び研修の実施ができませんでした。</p>
☆ 発災時における「自助・共助」の啓発活動（総務課）	<b>評価B</b>
<p>区総合水防訓練、区総合防災訓練などの機会をとらえて、「洪水・内水ハザードマップ」を活用し、防災に対する心構えや家庭における災害対策の重要性について広報します。</p> <p>「てんぱく安心・安全だより」を発行するとともに、天白区のホームページで、自主防災訓練を始めとする、地域での防災活動に関する情報等を発信します。</p>	<p>・避難所リーダーステップアップ講座では避難所開設及び運営体制について説明し、避難所運営上の事例研究や避難所運営ゲーム体験会を行い、より具体的実践的な内容で避難所に対する理解を深めることができました。</p> <p>・各学区自主防災訓練など機会をとらえ、「自助」「共助」の重要性について広報を行いました。</p> <p>・「てんぱく安心・安全だより」を発行し情報の発信を行いました。</p>
☆ 大規模地震災害発生時の本部職員行動マニュアルの職員への周知（総務課）	<b>評価C</b>
<p>全職員にマニュアルを配布し、非常配備説明会や区指定職員参集訓練、区本部立ち上げ初動マニュアル説明会などを実施します。</p> <p>区役所内で火災(地震)が発生したことを想定した、初期消火訓練や市民誘導訓練等の避難訓練を実施します。</p>	<p>・職員非常配備説明会を実施しました。</p> <p>・大規模地震発生時初動マニュアル(案)の検討をしましたが、中身の検討に終わり、完成及び周知はできませんでした。</p> <p>・職員対象の初期消火訓練を行いました。</p>

## (2) 地域の自主防犯活動の支援

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果と目標の達成状況
<p>1 地域防犯活動（青色防犯パトロール）（まちづくり推進室）</p> <p>天白区内では現在、全 17 学区、48 台の青色防犯パトロール車が登録され、各学区において自主防犯活動に取り組んでいます。今年度より、毎月 20 日を「てんぱく青パトの日（新規）」として定め、区内 17 学区で同じ日に青色防犯パトロール車による防犯パトロールを実施します。</p> <p>また、冬の生活安全市民運動期間中には、全学区の青パト車が一同に集結し、区内を一斉にパトロールする「ダブル・オー作戦（青色防犯パトロール出発式）」を実施します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスローガン「みんなで創ろう、安心・安全なごや」の下、地域・警察署・関係機関と連携し、3N（ない）運動を進め、街頭犯罪等の発生を抑制します。</li> </ul>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価 A</p> <p>・地域における防犯パトロールを推進することで、区内における街頭犯罪の発生件数が28.7%減少（前年比）しました。（名古屋市 15.5%減）</p>
<p>2 区役所公用車による防犯活動の推進（まちづくり推進室）</p> <p>現在、公用車2台を青色防犯パトロール車として登録し、職員の出張時にあわせて回転灯を回し、パトロールを実施しています。今後も公用車による防犯パトロールを実施し、地域の犯罪抑止効果を高めます。また、関係機関へ働きかけ、啓発ステッカーの貼付を依頼します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスローガン「みんなで創ろう、安心・安全なごや」の下、地域・警察署・関係機関と連携し、3N（ない）運動を進め、街頭犯罪等の発生を抑制します。</li> </ul>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価 A</p> <p>・地域における防犯パトロールを推進することに加え、区職員始め関係機関による防犯パトロールを実施することで、区内における街頭犯罪の発生件数が28.7%減少（前年比）しました。（名古屋市 15.5%減）</p>
<p>3 「てんぱく安心・安全だより」の刊行（まちづくり推進室）</p> <p>今年度から各学区の活動をより分かりやすく紹介するため、紙面をカラー化します。年間ですべて 17 学区の活動を紹介し、各学区の地域活動の活性化を図ります。また、必要に応じて「号外」を発行し、犯罪や交通事故情報の地域への周知を図ります。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスローガン「みんなで創ろう、安心・安全なごや」の下、地域・警察署・関係機関と連携し、3N（ない）運動を進め、街頭犯罪等の発生を抑制します。</li> </ul>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価 A</p> <p>・カラー印刷で発行したことで、より見やすく、親しみやすいものになり、区民の方に好評でした。</p>
<p>☆ 商店街等との協働による地域防犯活動（まちづくり推進室）</p> <p>商店街振興組合連合会天白支部、シマダ商店街協同組合及び郵便局と協働して、子どもが緊急時に駆け込める場所を確保することを目的とした「てんぱく子ども110番の店」の設置を推進するほか、PR活動の拡充・支援にも努めます。また、小学校、PTA及び子ども会などと連携し、子どもたちへの周知を徹底するほか、新たに各店舗へ防犯情報を定期的配信して、啓発活動を推進します。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価 A</p> <p>・防犯情報を各店舗に送付することにより、防犯意識を高めることができました。</p>
<p>☆ 地域学生による防犯ボランティアとの連携（まちづくり推進室）</p> <p>現在、名城大学ボランティア協議会をはじめ東海学園大学、名古屋女子大学及び豊田工業大学と地域住民が連携して、防犯パトロールなどの活動を行っています。学生と地域住民がより一層強い協働意識を持てるよう支援し、地域安全活動の推進に努めます。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価 A</p> <p>・地域住民、事業者、関係機関と並び、区内の大学とも連携して地域の防犯活動に取り組みました。</p>

### (3) 交通安全啓発活動の推進

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果と目標の達成状況
<p>1 ゼロの日等の交通安全街頭指導・広報活動（まちづくり推進室）</p> <p>毎月10日・20日・30日の「交通死亡事故ゼロの日」や、年4回の県内一斉大監視の実施日に、区内主要交差点において、学区・交通関係団体・警察署・区役所の協働により、交通安全活動を実施します。また、公用車による巡回広報も併せて行います。</p> <p>【目標】 ・「マナーアップなごや なくそう交通事故」のスローガンの下、重点事項の徹底で交通死亡事故ゼロを目指します。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価C</p> <p>・地域との協働により、ゼロの日や県内一斉大監視の実施日をはじめ、一年を通じて街頭における広報・啓発活動を実施しました。</p> <p>・区内における人身事故の発生件数及び負傷者数は減少したものの、死亡事故が1件発生しました。</p>
<p>2 交通安全啓発活動（まちづくり推進室・天白警察署）</p> <p>各小学校などが実施する「交通安全教室」に交通指導員を派遣して、道路の横断方法、自転車の交通ルールやマナーの啓発に取組みます。高齢者ふれあい給食会など、高齢者が集まる機会をとらえて、反射材や交通安全ヒヤリ地図を活用した交通安全啓発に取組みます。</p> <p>また、区民を対象とした交通安全教室を開催し、名古屋市が昨年度から導入している、「歩行者シミュレーター」と「自転車シミュレーター」の普及啓発に取組みます。</p> <p>【目標】 ・「マナーアップなごや なくそう交通事故」のスローガンの下、交通マナーの向上と安全意識の高揚を目指します。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価B</p> <p>・一年を通じて、交通指導員による各学校・幼稚園・保育園での交通安全教室やふれあい給食会での高齢者に対する交通安全講話、交通部会や総決起大会における啓発等、交通マナーと安全意識の高揚をめざして活動を行いました。</p>
<p>3 交通安全ヒヤリ地図の作成（まちづくり推進室）</p> <p>各学区の交通指導員が、通学路を中心に危険箇所をまとめた「交通安全ヒヤリ地図」を作成しています。作成した地図は、新入学児童に配布しています。</p> <p>高齢者向けの学区交通安全ヒヤリ地図を、老人クラブのみなさんと一緒に作成します。地図の情報は地域にお知らせするとともに、名古屋市のホームページにも掲載します。</p> <p>【目標】 ・新たに3学区で高齢者向けヒヤリ地図を作成し、全17学区でのヒヤリ地図の完成を目指します。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価B</p> <p>・23年度で、区内全17学区において高齢者用ヒヤリ地図の作成が終了しました。</p>
<p>☆ 交通安全キャンペーンの実施（まちづくり推進室）</p> <p>地域・警察署・関係機関と連携し、春・夏・秋・年末の交通安全市民運動期間にキャンペーンを実施します。それぞれの運動期間に高齢者への注意喚起、飲酒運転根絶やシートベルト着用など重点項目を決めて、重大事故の発生防止に向けた啓発を行います。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価B</p> <p>・一年を通じて、地域や警察、関係機関と協働で各種キャンペーンを実施しました。区内の人身事故発生件数や負傷者数は減少したものの、死亡事故が1件発生しました。</p>
<p>☆ 交通安全・生活安全総決起大会の開催（まちづくり推進室）</p> <p>学区や関係団体とともに、「自分たちのまちは、自分たちでよくなる」という自主的な意識の高揚を図り、地域での活動が活発に行われるよう総決起大会を開催し、交通事故や犯罪のない安心・安全なまちを目指します。</p>	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">評価B</p> <p>・総決起大会の参加者に対して、交通安全・生活安全に対する啓発を実施しました。</p>

## (4) 快適できれいなまちづくり

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果と目標の達成状況
<p>1 ペットの飼主マナー向上啓発事業（生活環境課）</p> <p>太白区の快適なまちづくりを進めるため、区民との協働による啓発活動等を実施し、犬の糞の始末を呼びかけるなど飼主等のモラルの向上に努めます。 また、飼主等に対する個別指導・飼育相談等を実施します。</p> <p>【目標】 ・重点学区を2学区以上選定し、犬の散歩が多い夕方の時間帯に巡回指導を行います。（「ペットのマナー良し隊」平成22年度までに11学区で実施） ・地域団体との協働による相談会等の開催や個別指導の実施により、犬猫による迷惑防止を啓発します。</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p> <p>・ペットのマナー良し隊(巡回指導)を9月に2学区で実施し、犬のフンの放置防止等適正飼養の啓発活動を行いました。</p> <p>・地域団体と協働で、ネコの飼い方等に関する相談会を12月に開催しました。</p>
<p>2 町を美しくする運動の推進（まちづくり推進室）</p> <p>地域における「町を美しくする運動」を支援するため、地域一斉清掃(5月)、環境デーなごや(6月)、空地进行をきれいにする運動(7月)、屋外広告物キャンペーン(随時)、花いっぱい運動(随時)などを地域と協働で行います。 ウエルカムなごや・クリーンアップ運動(職員による清掃活動)を毎月25日に実施します。</p> <p>【目標】 ・太白区において「ゴミの放置や落書きなどがなくきれいである」と感じている区民の割合の向上。(区政モニター調査結果22年度63%)</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価C</b></p> <p>・「地域一斉清掃」や「クリーンキャンペーン」を通して、美しいまちを形成していきこうという意識の醸成ができました。</p> <p>・「違反広告物をなくす運動」や「花いっぱい運動」を通して地域の美観が保たれるとともに、地域住民の活発な交流が行われました。</p> <p>・23年度区政モニター調査において、「ゴミの放置や落書きなどがなくきれいである」と答えた人の割合が、55.5%に下がりました。</p>
<p>☆ 食の安全・安心（生活環境課）</p> <p>最新の食品衛生関連情報を、食品関係施設に対する監視指導時や広報なごや等の媒体を通じて広く広報するとともに、食中毒事件発生「0」を目指します。また、食の安全・安心対策について、区民や事業者との情報・意見交換を積極的に行います。</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p> <p>・年間を通して食品関連施設に対する監視指導や業者・市民等に対する各種衛生講習会の開催により食の安全・安心の確保に努めました。</p> <p>・食品関連施設への監視指導を3,567件実施しました。</p> <p>・事業者や市民に対する食品衛生講習会等を、19回、延べ737人に対して実施しました。</p> <p>・8月に区内のスーパーにおいて食品衛生相談所を開き、延べ100人に対して相談・啓発を行いました。</p> <p>・太白区内における食中毒事件の発生はありませんでした。</p>
<p>☆ 不法投棄の防止</p> <p>地域と協働して不法投棄されにくい環境をつくるとともに、不法投棄防止パトロール(昼間・夜間)に加え、深夜パトロールも活用します。投棄者が判明した場合は、撤去指示等を行い、警察に通報します。</p> <p>【目標】 ・不法投棄注意箇所を改善して、2か所以上減少させます。</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p> <p>・不法投棄防止パトロールを計181回(昼間154回、夜間27回)行いました。また、深夜パトロールを10回委託して行いました。</p> <p>・注意場所を改善して、1か所減少させました。不法投棄者判明分のうち、5件を警察に通報しました。うち、2件が捜査中です。</p>



## 施策2 人にやさしいぬくもりのあるまちづくり

### (1) 子どもにやさしいぬくもりのあるまちづくり

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 すくすく訪問・すくすくサロン(民生子ども課・保健予防課)</p> <p>初めての赤ちゃんが誕生した家庭に地域の児童委員・主任児童委員が訪問する「すくすく訪問」を行っています。また、乳幼児を持つ親とその子が気軽に集まり交流できる場である「すくすくサロン」が、平成23年2月の植田東学区の開設により、全17学区での開催となりました。すくすく訪問の際には、太白区内の子育て情報の紹介や、地域の児童委員・主任児童委員による相談を行います。</p> <p>【目標】 ・子育てアンケートを行い、子育て家庭の孤立の防止、子育ての不安の解消に努めます。</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・家庭訪問とすくすくサロン等の情報提供 地域の主任児童委員等が家庭訪問をし、子育て情報冊子の配布や、子育てサロンの情報提供等を行いました。</p> <p>・子育てアンケートの実施 回収率 53.5%(400世帯へ発送し、214世帯から回答)。アンケート結果は主任児童委員連絡会等の場で情報提供を行い、子育て不安の軽減(保育所、予防接種等の情報提供)に役立てていきます。</p> <p>・すくすくサロンの開催 全学区で開催しました。</p>
<p>2 子育て支援ネットワークてんぱく(民生子ども課など)</p> <p>社会全体で子育て、親育てを支援するため、主任児童委員や天白子ネットなど区内の子育て支援関係機関が連携し、子育て支援者のレベルアップに取組み、子育て家庭を支える機関相互のネットワークの充実に図ります。</p> <p>【目標】 ・「天白区子ども・子育てお役立ち便利帳」を改訂します。 ・子育て支援者のレベルアップを継続的に行うため、第5回子育て支援者ステップアップ講座を開催します。(参加者の目標 150名 ※22年度実績137名) ・天白白おやこ子育て広場などを通じて、交流の場づくりを支援します。</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・「天白区子ども・子育てお役立ち便利帳」の改訂 改訂版を作成(1800部)し、3月下旬から配布を開始しました。すくすく訪問の際や、各種講座等で子育て世帯の方へ配布します。</p> <p>・子育て支援者ステップアップ講座 1月に3回講座を実施し、107名の参加がありました。地域で子どもに関係する活動をしている各種団体や支援者の方が、講師の話を聴き、意見交換を行いました。</p> <p>・天白白おやこ子育て広場などを通じた交流の場づくり 天白白おやこ子育て広場を2回実施し、地域で仲間づくりができる交流の場づくりを行いました。</p>
<p>3 天白白おやこ子育て広場(社会福祉協議会など)</p> <p>天白白スポーツセンターの競技場を利用し、夏(8月)・冬(2月)の2回、親子がみんなで楽しめる企画を行うとともに、子育てに必要な行政サービスや子育て支援活動を行っているグループなどの情報を提供します。</p> <p>【目標】 ・子育て家庭のみではなく、高齢者や障害児・者、ボランティアとの交流を目的とした世代を超えて楽しめるコーナーを設置します。 ・地域の子育て支援団体の連携を強化するため、実行委員会を組織し企画・運営します。【参加団体 30団体】 ・満足度 90%以上(参加者を対象としたアンケート結果)</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・参加者数 夏(8月2日)436組、冬(2月14日)331組</p> <p>・22団体から成る実行委員会を夏冬あわせて9回開催し、実行委員会でプログラムの企画、運営を主体的に行うことで、太白区全体の子育て支援の気運を高めることができました。</p> <p>・アンケートによるイベント満足度(大変満足、満足)が、夏は91.0%でしたが、冬は当日、雨天だったこともあり、77.2%と低くなりました。</p> <p>・学生ボランティアに赤ちゃんの抱っこ方法を教えるなど、若い世代との交流を持つことができました。</p> <p>・東日本大震災を受け、「もしも…」の部屋を新設し、子育て世代へ向けて避難所生活体験や防災について学習しました。</p>



平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
4 児童虐待防止事業（民生子ども課）	<b>評価A</b>
<p>子育ては誰にとっても大変なことです。子育てに悩むこと、子どもに手をあげてしまうことは、誰でも可能性があることです。早期発見・早期支援のため、学区説明会等での啓発活動や、児童虐待防止推進月間(11月)の啓発など、行政と地域が一体となり、支援活動を行っています。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待による重大な被害の根絶を目指します。</li> <li>地域のリーダーとなっている方が、児童虐待通告制度や児童虐待のサインを理解している状態を目指し、学区説明会を実施します。</li> <li>区民を対象に虐待防止講演会を実施します。</li> <li>子育てに悩む親を対象とした養育支援プログラムを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童虐待による重大な被害の根絶 児童相談所等との連携等により、重大な被害はありませんでした。</li> <li>地域のリーダーへの学区説明会 職員が全学区へ出向き、虐待を疑うサイン等について研修を行うとともに、見守りや通告の協力依頼を行いました(17学区・18回実施・517名)。</li> <li>虐待防止講演会の実施 11月9日、いやしのバイオリン・ギターと子育ての講演会を実施しました(195名)。しつけと虐待の違い等について、講演を行いました。</li> <li>養育支援プログラムの実施 子育てに悩む親向けの講座を2回開催しました(4回コース:12名、6回コース:16名)。子育てのヒント等についての講座を行いました。</li> </ul>
5 子育て支援講座の開催「スマートパパへの道」(保健予防課)	<b>評価A</b>
<p>現在の子育ては核家族化の影響もあり、父親の育児参加が求められていることから、子育てに関する父親向けの講座を開催します。今回の講座「スマートパパへの道～仕事も家庭も大切にできるパパになろう～」では、父親が母親と一緒に胎児・乳幼児の成長や産前・産後の母親の変化を学び、家族に合った育児生活をイメージでき、母親へのサポートや早期からの育児実践に取り組めるよう支援します。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義・体験により、次のことに取り組むスマートな父親になっていただきます。(毎月1回実施)</li> <li>①妊娠中の経過を知り、母親への支援ができる。</li> <li>②マタニティブルーについて知り、対応できる知識を持てる。</li> <li>③育児方法を身につける(抱っこ・オムツ交換・着替え・沐浴など)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初妊婦とその夫を対象に、妊婦体験や沐浴体験、マタニティブルーについての講座を毎月1回行い、127組253人の参加がありました。</li> <li>アンケートによると、「とても勉強になった」「もっとこうした機会がふえるといい」という意見が多数ありました。また、「父親になる気持ちの準備ができた」、「妻を思いやる気持ちが湧いてきた」などの反響があり、子育てに対する父親としての意欲を高めることができました。</li> </ul>
☆ 乳幼児とその親への食育支援（保健予防課）	<b>評価B</b>
<p>乳幼児にとっての食の楽しみや大切さを伝えるとともに、食事に関する不安を解消するために、8・9ヶ月児の乳児とその親を対象とした「困った時の離乳食教室」や、3歳児を対象とした講習「たのしく食べよう！」で、参加者同士の交流の場を設け、講話、試食や調理実習、相談を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「困ったときの離乳食教室」は、7月から参加人数を増やし12回実施し、130組の参加がありました。また、「たのしく食べよう」は、対象を「3～5歳児」と拡大して2回実施し、計11組の参加がありました。</li> <li>「困ったときの離乳食教室」の参加者へのアンケートでは、「食事に関する悩みや不安の解消ができた」という回答100%、「調理や食べさせ方の参考にとってもなった」、「なった」という回答100%、などとなっています。</li> <li>「たのしく食べよう」の参加者へのアンケートでは、調理実習の印象が「とても良い」という回答100%、交流・情報交換の印象が「とても良い」、「良い」という回答100%、などとなっています。</li> </ul>
☆ はじめての歯みがき教室（保健予防課）	<b>評価B</b>
<p>歯が生えはじめる1歳0カ月の乳幼児を対象に、楽しく仕上げみがきをする方法や個々の口腔機能の発達段階に応じた適切な支援をし、生涯を通じて健全な食生活を維持できるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加希望者が多く2回追加し計14回実施し、280組の参加がありました。</li> <li>参加者へのアンケート結果では、「子どもの歯みがきについて、不安に思っていたことが解消できてよかった」、「知らないことが聞けてよかった」、「話しやすい雰囲気が安心できた」など、「満足した」という趣旨の回答が、95%となっています。</li> </ul>

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
☆ 歯の1日健康センター（保健予防課）	<b>評価B</b>
<p>歯の衛生週間事業の一環として、区歯科医師会と協働し、就学前の乳幼児とその保護者を対象に、歯科健診、フッ素塗布、歯科相談、歯みがき指導、栄養相談等を行い、成長・発育期にある乳幼児の虫歯予防と保護者の口腔機能の維持を図ります。</p> <p>本年度も日曜日の午後に実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月29日（日）に実施し、台風による悪天候にもかかわらず、583名の参加がありました。歯科検診、フッ化物塗布に代わって、フッ化物・甘味料に関する展示や近隣の歯科医院案内の展示を行うなど、内容を充実しました。</li> <li>・参加者へのアンケートでは、「参加してよかった」、「まあまあ良かった」という回答が、99%となっています。</li> </ul>
☆ 子ども会活動の支援（民生子ども課）	<b>評価B</b>
<p>天白区子ども会連合会は、地域の子ども会活動を推進するため、ジュニアリーダーの育成に力を入れています。</p> <p>年齢の異なる子ども同士の交流や集団での子ども会活動を支援することにより、子ども達の健全育成に取り組めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子ども会にジュニアリーダーがボランティアサークルとともに参加しました（派遣50回・179人）。</li> <li>・中川村ふれあい交流事業では、中川村の子ども達との合同での魚つかみ・水遊び等を多くするなど事業内容の充実を図りました。</li> <li>・ジュニアリーダー養成キャンプでは、当初予定していた期間を1泊2日から2泊3日とし、事業内容の充実を図りました。</li> </ul>
☆ 思春期セミナー（保健予防課）	<b>評価B</b>
<p>小学生、中学生に命の大切さを伝え、「誰もが大切なひと」と理解し、行動できることを目指して、学校担当者と協働して思春期セミナーを開催します。</p> <p>学校以外では、障害児を育てている保護者・支援者を対象に、思春期の支援方法について、セミナーを実施する予定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校等での思春期セミナーを、9校（園）1,337名に実施しました。生徒や保護者からの感想では、「自分が大切に育てられたことがわかった」「優しい気持ちになれた」等があり、命の大切さや生まれた時の感動を知る機会となっています。</li> <li>・「障がい児の親のための思春期セミナー」を、総論、男の子編、女の子編の3回実施し、延べ130名の参加がありました。</li> <li>・具体的な事例や対応方法を学ぶ機会となり、参加者へのアンケートでは、「とても勉強になった」、「また参加したい」といった感想が寄せられています。</li> </ul>
☆ 青少年健全育成事業の推進（まちづくり推進室）	<b>評価B</b>
<p>青少年すこやかポスターの募集・展示、青少年育成区民大会の開催を通じて、青少年健全育成の意識啓発をし、「地域の子どもは地域で守り育てる」という機運を盛り上げ、青少年健全育成活動を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年すこやかポスターの募集・展示、青少年育成区民大会の開催等の青少年健全育成事業を通じて、「地域の子どもは地域で守り育てる」という機運の盛り上げを図りました。</li> <li>・PTA/パトロールなど、青少年を守る運動への支援を行いました。</li> </ul>

## (2) 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 高齢者虐待への対応と孤立死防止（福祉課・保健予防課）</p> <p>高齢者に対する虐待が疑われる場合、区役所、保健所など関係機関の職員が情報を共有するとともに、必要に応じ、個別ケース検討会議や専門機関も参加する支援会議を開催します。</p> <p>高齢者の孤立死を防止するため、地域から孤立した生活を送っている高齢者に対し、地域の方々などが協力し合い見守りや声かけを行う地域支援ネットワークづくりが各学区で進むようPRに努めます。また、区内での取組みを推進するため、天白区地域支援ネットワーク運営会議を開催します。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の虐待防止に向け、支援会議などを迅速に開催します。</li> <li>・地域支援ネットワークの2学区以上での設置が進むよう支援します。</li> </ul>	<p><b>評価 A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース検討会(延べ34回)や専門家を含めた支援会議(1回)を開催し、高齢者の虐待に迅速に対応しました。</li> <li>・あつたかネットNEWSを発行して地域支援ネットワークのPRに努め、4つの地域で「天白あつたかネット」(地域支援ネットワーク)が設置されました。(平針南、大坪、高坂、相生)</li> <li>・地域支援ネットワーク運営協議会を2月14日に開催し、区内での孤立死防止の推進を図りました。</li> </ul>
<p>2 障害者地域自立支援協議会の活動推進（福祉課・保健予防課・社会福祉協議会）</p> <p>天白区障害者地域自立支援協議会において、運営会議(毎月)や定例会(年3回)、3専門部会(各3回)を行い、障害福祉に関する連携を推進します。また、他区の障害者地域自立支援協議会との連携を一層推進します。障害福祉関係者・団体や区民のみなさんに、障害福祉の理解及び知識の向上を図るため、研修会(年2回以上)・講演会(年1回)を開催します。また、自主製品のPRに対する支援に努めます。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに展示を行うなど、自主製品への支援拡大を目指します。</li> </ul>	<p><b>評価 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月にシンポジウム(講演会)を開催し、東日本大震災の被災地で支援活動に参加したシンポジストとともに、災害時要援護者への支援のあり方を考えました。(参加者 約110名) また、研修会を4回開催しました。</li> <li>・天白区内の授産施設などで障害者が製作・製造した授産製品(自主製品)の区役所庁舎内での販売を12月に開始しました。障害者に対する区民の理解を深め、障害者の就労支援に努めました。</li> </ul>
<p>☆ 高齢者介護のネットワークづくり（福祉課・保健予防課）</p> <p>質の高い介護サービスを目指して、ケアマネージャーや特別養護老人ホーム、老人保健施設などの施設事業者のネットワーク「天白介護ネット」において、年に10回、情報提供や学習会を開催します。また、「いきいき支援センター」連絡会を毎月開催し、天白介護ネットの学習会をさらに充実します。</p>	<p><b>評価 B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき支援センターと連携し、天白介護ネットを円滑に運営するための連絡会を毎月開催しました。</li> <li>・参加者の意見を取り入れた内容の学習会等を10回開催しました。11月の学習会では、研究者を招いて認知症ケアについて理解を深めました。</li> <li>・通所介護事業所職員で構成する「天白区通所ネット」の設立(1月18日)を支援しました。</li> </ul>
<p>☆ てんぱく特養老健ネットへの支援（福祉課）</p> <p>地域のみなさんが利用しやすい環境づくりをめざして、区内の特別養護老人ホーム・老人保健施設・有料老人ホームなど高齢者関係の14施設により「てんぱく特養老健ネット」を組織しています。広報を一層充実し、各施設の特徴が分かるような施設情報展を開催します。また、各施設の概要や費用などを掲載した案内冊子を作成します。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設情報展において、各施設の特徴がよりわかるように展示内容を充実します。</li> <li>・施設情報展の入場者数の5%増(平成22年度148人)</li> </ul>	<p><b>評価 C</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設情報展は、展示内容をわかりやすく充実させ、9月10日～11日に開催し、131人が来場されましたが、目標の5%増は達成できませんでした。</li> <li>・施設の案内冊子「てんぱくの施設がわかる本 おとしより編2011版」1,200部を作成し、啓発に努めました。</li> </ul>

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
☆ 社会福祉施設に対する総合生活衛生指導（生活環境課）	<b>評価B</b>
<p>社会福祉施設ではノロウイルス食中毒やレジオネラ症の集団発生などが懸念されることから、特別養護老人ホームなどの施設管理者や従事者等に対して、生活衛生全般に係る合同講習会や立入指導を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉施設の給食施設に対する立入指導を実施するとともに、2月に施設従事者に対して施設入所者の生活衛生全般に関する衛生講習会を開催しました。（講習会参加者34人）</li> <li>・社会福祉施設において食中毒やレジオネラ症患者の発生はありませんでした。</li> </ul>
☆ しらさぎ大学【認知症・うつ予防教室】（保健予防課）	<b>評価B</b>
<p>参加者自身による認知症予防のための取組みとして、認知症にならない生活習慣の獲得を目指します。約6カ月間の教室で、グループワークを中心にすすめていきます。広報なごやなどで周知、募集します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6コース 35回開催し、276人の参加がありました。</li> <li>・参加者からは、「家でもはじめて料理をした」、「教えてもらったポイントに気をつけてウォーキングを続けている」、「地域の皆さんにも伝えていきたい」等の感想が寄せられ、この教室が認知症予防に取り組むきっかけとなっています。</li> </ul>

### (3) 誰もがいきいき暮らせるまちづくり

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 てんてんプラン2009に基づく地域福祉の推進（社会福祉協議会）</p> <p>計画の中間年として計画全体の見直しを行います。見直し後の実施項目に基づき、計画的に事業を進めます。継続事業は、平成22年度に企画・実施した取組みの評価、見直しを行ったうえで平成23年度における事業展開を考えます。 計画スケジュールに基づき、平成23年度からの実施項目についての具体的な企画を進めます。</p> <p>【目標】 ・新たな区民に参加いただけるよう魅力ある計画の実施に努めます。【計画委員35名(5名増)】 ・継続事業は、事業の必要性を見極めながら、有効な事業についての拡充を図ります。【平成22年度に新たに企画した事業:12事業 平成21年からの継続事業:5事業】 ・計画スケジュールに基づいた計画的な部会運営に努めます。【平成23年度が企画期間となる実施項目:8項目】</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p> <p>・新たな人材の確保については、計画委員の増員に結びつくまでにはいたりませんでした。部会に共通・関連する事項について、合同で部会を開催しました。「出張！ボランティア相談inつどい」については、他部会と連携して実施しました。</p> <p>・月1回を基本として各部会を開催し、事業を企画・実施していくとともに、4部会の進捗状況をそれぞれの部会で報告し、情報を共有するなど計画的な部会運営を行いました。</p> <p>・年間を通じて計画された8項目の事業を実施しました。</p>
<p>2 シルバーパワーを活用した地域力再生事業及び地域活性化支援事業（社会福祉協議会）</p> <p>団塊の世代を中心としたシルバー世代が地域でのボランティア活動を行うことで、地域の福祉ニーズを地域で解決する仕組みづくりを構築するとともに、学区内の地域福祉推進の中心となる「地域福祉推進協議会」への支援を行います。</p> <p>【目標】 ・表山学区では、「お助けマン制度」を前年度より多くの方に利用される事業にできるようPRに努めます。 ・高坂学区では、個別支援事業としてふれあいネットワークの構築と生活お助け活動を早期実施できるよう努めます。 ・新たに1学区で事業を展開します。</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p> <p>&lt;表山学区&gt; お助けマンによるお助け制度のPR活動を展開した結果、依頼件数が増加しました。病院の通院や車いすでの買い物支援などの新規依頼やお助けマンを利用するリピーターも増えました。</p> <p>&lt;高坂学区&gt; 自治会のふれあいネットワークが開始され、中心的なボランティアとともに訪問活動も行いました。続いて町内会においても、ふれあいネットワーク活動を開始し、全町内(自治会)でスタートを切ることができました。</p> <p>&lt;山根学区&gt; 23年度から新たに事業に取組み、ボランティアの新規獲得を行いました。見守り隊やふくしだよりの配付(戸別配付)ボランティアは活動エリア等を考慮しつつ、引き続きボランティア募集の呼びかけを行いました。</p>
<p>☆ 天白お出かけふれあい講座 (民生子ども課・福祉課・保険年金課・保健所)</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p>
<p>保健・福祉分野の職員が地域のサークルや集まりなどに出かけ、専門の立場から様々な情報提供を行い、区民のみなさんの保健・福祉に関する多様なニーズに対応します。</p>	<p>・保健所の医師、保健師、歯科衛生士、栄養士等が、子育てサロン、幼稚園、保育園、児童館、地域自主グループの集い等に出向き、「インフルエンザについて」、「乳幼児の事故防止について」、「離乳食について」、「高齢者の栄養について」、「歯みがきについて」等の講演、個別相談等を行いました。</p>
<p>☆ 区民健康づくりセミナー（保健予防課）</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p>
<p>区医師会、区歯科医師会、区保健委員会、地元の病院などと協働し、区民のみなさんの健康意識を高め、日ごろの健康づくりに役立てていただくよう、講演会を実施します。</p>	<p>・10月28日(金)に講演会を実施し、172名の参加がありました。</p> <p>・参加者へのアンケートでは、講演の内容に「大変満足した」、「まあまあ良かった」という回答が97%となっています。</p>
<p>☆ 感染症対策（新型インフルエンザ対策を含む） (保健予防課)</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p>
<p>「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、疫学調査、接触者健診、入院勧告などの感染症（結核、腸管出血性大腸菌感染症等）まん延防止に必要な措置を関係機関と連携して行います。あわせて、予防接種などの情報提供を適宜行います。</p>	<p>・感染症発生時に感染の拡大を防止するため必要な措置や健診を行うなど、迅速に対応しました。また、保健委員会をはじめとして地域団体の会議等で、インフルエンザや結核などについての情報提供を、適宜、行いました。</p>



## 施策3 自然を活かし、環境にやさしいまちづくり

### (1) 市民参画による森・水辺に親しみ整備する取組み

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 天白の自然の魅力体験・発信事業（「天白・もりのフォーラム」の事業）（まちづくり推進室）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>「天白・もりのフォーラム」と協働して、身近な自然に親しみ市民と交流するイベント「もりのフィールドサーキット」「天白の自然の魅力1日体験事業」を実施するとともに、区内の自然の魅力解説する「自然ガイドブック」を作成します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加・体験型事業を開催し、区民のみなさんが身近な自然に目を向け、自然を大切にしてい意識を醸成します。</li> <li>・満足度90%以上(参加者を対象としたアンケート結果)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シリーズ全6回、活動フィールドを毎回変えながら実施し、延べ273名の方が参加しました。</li> <li>・参加者アンケート結果で「良かった」と答えた人の割合は100%でした。</li> </ul>
<p>☆ 区内の市民グループ（「天白・川辺の楽校」「荒池ふるさとクラブ」）の活動支援（まちづくり推進室）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>「天白・川辺の楽校」が実施する親水活動や清掃活動を支援するとともに、竹林整備や田んぼの保全活動などを行っている「荒池ふるさとクラブ」の事業を支援します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民のみなさんの身近な生き物や自然を大切にす気持ちを醸成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「天白・川辺の楽校」と協働で8月7日「天白川で生物多様性を体験しよう！」を開催し、150名の方が参加しました。</li> <li>・10月23日の区民まつりにおいて、「天白・川辺の楽校」は「笹舟づくり、缶バッチ製作」、「荒池ふるさとクラブ」は「竹工作」のブース出展をしました。</li> </ul>
<p>☆ 天白区の豊かな自然を活かした講座（生涯学習センター）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>農業センターやJA天白信用と連携して「なごや環境大学共育講座」の一環として前期に「大地の恵みに感謝」を開催します。天白区でつくられる野菜、果物を収穫・調理することにより、天白の「農」に触れていただき、大地の恵みの尊さを感じることができる講座とします。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座満足度 80%以上(講座終了後のアンケート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天白産の梅、野菜等を収穫したり、調理したりする講座を開催し、16名の方が受講されました。講座終了後のアンケートでは「講座に満足できた」との評価が90%以上の受講生から得られました。</li> </ul>



## (2) 農とのふれあい

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 地産地消のさらなる推進（総務課（農政））</p>	<p><b>評価C</b></p>
<p>区民のみなさんに「農」をもっと身近に感じ、「農」に親しみを持ってもらうため、天白の農業等について情報発信するチラシの内容を充実するとともに、区内の朝市・直売所を巡るスタンプラリーを実施し、生産者と消費者の架け橋となります。また、農家や学校等と協力して、子どもたちが「農」にふれあう機会を増やします。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ「すくすく天白」を年間4回以上発行します。</li> <li>・スタンプラリーの応募者 150 名を目指します。</li> <li>・農業体験等実施校数を5校に伸ばします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にチラシを発行したり、ホームページを利用して区民への情報発信に努めました。(年6回発行)</li> <li>・教育の一環として農産物の栽培に取り組んでいる学校をチラシで取り上げ、子ども達の意欲向上を図りました。</li> <li>・「地産地消スタンプラリー」を実施し、朝市・直売所の活性化を図り、地産地消の推進に努めました。(応募者111名)</li> <li>・農家さんの協力のもと、子ども達の農業体験等を実施しました。(4校)</li> </ul>
<p>2 地元農産物の普及活動(総務課（農政）)</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>地元農産物である梅、にんじん、たまねぎ、かぼちゃなどをチラシ「すくすく天白」で広報します。区役所の敷地内で職員が天白の特産物を栽培し、来庁者にPRするとともに、収穫物を地域の行事などで使っていただきます。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所の敷地内で、春から夏にかけて「くりあじかぼちゃ」、夏から冬にかけて「八事五寸にんじん」の栽培に取り組めます。</li> <li>・チラシ「すくすく天白」などで年2回以上広報します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天白の伝統野菜を中心に、一年を通じて栽培に取り組み、来庁者への地元農産物のPRに努めました。なかでも、かぼちゃについてはツルを活かしたおもしろみのある栽培方法を工夫しました。</li> <li>・成長の過程は、チラシ「すくすく天白」(年6回)やインターネットで随時広報したり、日本農業新聞に取り上げてもらう等、広く情報発信に努めました。</li> <li>・成果物は、品評会やカウンターに展示したり、区役所内の食堂の材料として使用してもらう等、できるだけ区民の皆さんに見てもらうように工夫しました。</li> </ul>
<p>3 農業祭・農産物品評会の実施(総務課（農政）)</p>	<p><b>評価C</b></p>
<p>農業祭において朝市を開催し、地元でとれた新鮮な野菜を手ごろな価格で提供するとともに、天白の農産物を使った模擬店などを実施します。また、農産物に関するクイズラリーを実施したり、手動の農具を体験してもらい、子どもたちに食の大切さと、農業の楽しさを伝えます。運営には、多くの農家のみなさんにご協力いただき、農家と住民の交流を促進します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業祭の来場者数 1,200 人以上(22 年度 1,000 人)</li> <li>・地産地消の認知度 90%以上(来場者へのアンケート結果)</li> <li>・品評会への出品点数 420 点以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月10日(土)に開催し、約1,000人の方が来場されました。</li> <li>・地産地消の認知度は77.4%と22年度に比べて低下したものの、地元野菜の販売や模擬店等を通じて、地産地消の良さをアピールすることができました。また、新しく工作コーナーを設置したり、ゲームを新しくする等、親子で楽しめる内容の充実を図りました。</li> <li>・品評会への出品点数は366点と目標を下回ったものの、台風等天候の被害を受けながらも、品質の高い物が多く出品されました。</li> </ul>
<p>☆ 市民参画による農業とふれあい交流する事業の推進（長野県中川村との交流事業）（まちづくり推進室・民生子ども課）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>トウモロコシの収穫体験や中川村の収穫物で実施するソバ打ち体験などのふれあい・交流事業を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川村を訪問し、トウモロコシの収穫を体験することをはじめ、中川村の収穫物で実施するソバ打ち体験等ふれあい・交流事業を実施しました。</li> <li>・参加者アンケートで「良かった」と答えた人の割合は100%でした。</li> </ul>
<p>☆ 区民農園の推進（総務課（農政）)</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>農家を対象とした会議の場やチラシを利用して、区民農園の開設について理解を深めていただくほか、公共的団体(天白信用農業協同組合)とも協力して農園の拡大に努め、区民が「農」にふれあえる機会を提供します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民農園開設数、新たに1か所（既開設数3か所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4か所(新規で1か所開園)。</li> </ul>

### (3) 地球環境にやさしい取組み

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 環境デーなごや2011（まちづくり推進室・南東部公害対策担当・環境事業所）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>環境デーなごや2011」の開催に合わせ、地域団体・地元企業・大学との協働により「天白区クリーンキャンペーン(6月)」を開催します。また、区民まつり(10月)でも啓発活動を実施します。</p> <p>【目標】 ・区民のごみ減量や地域環境問題への意識を高めます。</p>	<p>・「環境デーなごや2011」の開催に合わせて実施した「天白区クリーンキャンペーン」や「ふるしきの包み方教室」、「環境バザー」を通して区民の環境問題に対する意識向上に寄与しました。</p> <p>・「区民まつり」では、環境をテーマにしたブースの出展や、スタンプラリーの景品としてエコバッグの普及等の啓発活動を行いました。スタンプラリーでは22年度並みの約800人の参加者があり、エコバッグの普及啓発に寄与しました。</p>
<p>2 生物多様性に向けた環境教育等（まちづくり推進室・総務課・生活環境課・南東部公害対策担当）</p>	<p><b>評価C</b></p>
<p>ツル性植物を利用して建物の壁面緑化などを行う「緑のカーテン」づくりを広報なごや区版により公募し、優れた取組みの応募者、組織などを表彰し、実例紹介するとともに、区役所においても緑のカーテンづくりを実施します。毎月8日の「環境保全の日」などに生物多様性と地球温暖化防止について、積極的に啓発します。 水辺の生き物観察教室を天白・川辺の楽校と協働実施します。【再掲】</p> <p>【目標】 ・区民のみなさんの身近な生き物や自然を大切にす気持ちを醸成します。 ・緑のカーテン応募数、前年度の10%アップ（平成22年度 応募数20件）</p>	<p>・「緑のカーテンコンテスト・天白」の応募件数は17件でした。</p> <p>・8月7日に天白川での水辺の生き物観察教室を開催し、150人の方が参加して水辺に親しんでもらったり、生き物観察を行いました。</p>
<p>3 ゴミ減量（環境事業所）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>これからの社会を担う小学生に分別の大切さを教えるため、「小学校出前講座」を充実するとともに、区内の大学と連携して、新入学生を中心にごみ・資源の分け方を周知します。 3月から4月の引越シーズンに区役所内に「ごみ案内所」を開設して、転入者などにごみ・資源の分け方を周知します。</p> <p>【目標】 ・小学校出前講座を5小学校以上で実施します。</p>	<p>・区内の2大学の学生と、ごみ・資源の分け方、出し方について説明しながら、大学周辺を協働巡回しました。</p> <p>・3月から4月の引越シーズンに区役所内に、「ごみ案内所」を設置し、484名(1日あたり28名)の方にごみ・資源の分け方、出し方について説明しました。</p> <p>・「小学校出前講座」を6校で開催しました。</p>
<p>☆ 水辺環境の保護等（天白区水辺協議会）（まちづくり推進室）</p>	<p><b>評価D</b></p>
<p>次代を担う子どもたちの自然体験活動を支援するとともに、川に親しむ環境を整えるため、関係者・関係機関が情報の共有や協議をします。</p> <p>【目標】 ・多様な生き物が住む良好な水辺環境の保護などに対する区民の意識を醸成します。</p>	<p>・天白区水辺協議会は今まで階段や看板設置など、「良好な水辺のあり方」についての協議や国の提唱する「子どもの水辺再発見プロジェクト」の推進に関することについて総合調整を行ってきました。しかし、平成23年度に関しては昨年度からの変更事項や検討事項が特になかったため、会議開催を見送りました。今後は必要に応じて随時開催します。</p>

## 施策4 にぎわい、交流と絆を創出するまちづくり

### (1) 歴史・文化・地域の魅力発信

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 天白の歴史・文化・地域の魅力発信事業（「天白ガイドボランティア歴遊会」の事業）（まちづくり推進室）</p> <p>天白区の魅力を積極的に発信するため、「天白ガイドボランティア歴遊会」と協働して、「ウォーキング&amp;史跡歩こう会」を開催するとともに、「歴史文化講演会」の開催や、天白のまちの魅力を掘り起こすための調査、自主学習会を実施します。</p> <p>また、地下鉄桜通線延伸に伴い、利便性が高まった相生山緑地の魅力を広くお知らせするため、交通局とタイアップして、駅に散策用のマップを設置したり、マップの活用策を検討します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内の歴史や見どころなどを広く情報発信し、区民のみなさんのまちへの愛着度を高めます。</li> <li>満足度 90%以上（参加者を対象としたアンケート結果）</li> </ul>	<p><b>評価A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月に「ウォーキング&amp;史跡歩こう会」、1月に「野鳥観察と史跡散策会」を開催し、参加者は延べ49名でした。</li> <li>10月に「歴史文化トーク&amp;和楽器コンサート」を開催し、参加者は28名でした。</li> <li>いずれも参加者アンケートで「良かった」と答えた人の割合はほぼ100%でした。</li> </ul>
<p>2 区内の伝統芸能（「平針木遣り音頭」「八事の蝶々」）の発信（まちづくり推進室）</p> <p>区内の伝統芸能や特色ある文化（平針木遣り音頭、八事の蝶々など）に携わっている団体と協議し、効果的な周知方法などを検討します。区民まつりなどでPR・発表の場を設けるとともに、関係保存会と協議し、活動資金の獲得方策の検討などを行い、伝統文化を守り継承する人材育成を目指します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区内の伝統芸能を広く情報発信し、区民のみなさんのまちに対する愛着度を深めます。</li> </ul>	<p><b>評価B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民まつりや文化小劇場における事業、地域における各種行事など参画機会を設けるとともに、区役所庁舎内での展示やホームページへの掲載など、PRに努めました。</li> </ul>
<p>3 天白の自然の魅力体験・発信事業（「天白・もりのフォーラム」の事業）【再掲】（まちづくり推進室）</p> <p>「天白・もりのフォーラム」と協働して、身近な自然に親しみ市民と交流するイベント「もりのフィールドサーキット」「天白の自然の魅力1日体験事業」を実施するとともに、区内の自然の魅力を解説する「自然ガイドブック」を作成します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加・体験型事業を開催し、区民のみなさんの自然を大切にしていこう意識を醸成します。</li> <li>満足度 90%以上（参加者を対象としたアンケート結果）</li> </ul>	<p><b>評価B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シリーズ全6回、活動フィールドを毎回変えながら実施し、延べ273名の方が参加しました。</li> <li>参加者アンケート結果で「良かった」と答えた人の割合は100%でした。</li> </ul>
<p>☆ 地域探検隊の公募及び活動支援（まちづくり推進室）</p> <p>まちに対する愛着を高め、より良いまちづくりにつなげていくため、地域の歴史や文化を調査する「地域探検隊」の結成を広報するとともに、その活動を支援します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民のみなさんのまちに対する愛着を深めます。</li> </ul>	<p><b>評価D</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度は地域探検隊に応募された団体がなかったため、実績はありませんでした。</li> </ul>
<p>☆ 応募いただいた「天白区の魅力」の発信（まちづくり推進室）</p> <p>平成22年度に、名古屋開府400年祭を記念した行事のひとつとして、天白の「まちの魅力や財産」「将来、こんなまちにしたいという夢」を募集し、多くの方にご応募をいただきました。今後のまちづくり事業に生かしていくため、応募作品をホームページやパネルなどで広くPRします。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民のみなさんのまちに対する愛着を深めます。</li> </ul>	<p><b>評価C</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に作成した「夢なごや400・天白版」に掲載された作品を広報なごや区版（平成23年度4月～6月号）に掲載、PRしました。</li> </ul>

## (2) にぎわい、交流と絆を創出するまちづくり

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 区民まつり（まつり天白2011）（まちづくり推進室）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>区民のみなさんや市民団体の協働・交流の場として定着していますが、プログラムを充実することにより、さらに幅広い区民のみなさんに参加していただけるまつりを開催します。</p> <p>昨年の名古屋開府 400 年祭や COP10 に関連する取組みを継承しながら、天白のまちの財産や自然の魅力を発信する機会とします。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの区民が交流する場となるまつりを実現します。</li> <li>満足度 90%（来場者へのアンケート調査）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月23日に区民まつりを開催し、来場者数は5万7千人、ステージ出演者は982名、出店(展)者は86団体、そして運営ボランティアとして199名の参加者がありました。</li> <li>東日本大震災を受け、復興に向けた応援を込め、チラシに「天白から元気発信」というメッセージを掲載したほか、東日本大震災義援金の受付や区民の皆さんが防災意識を深めるための防災啓発コーナーのブースを新設し、パネル展示や啓発活動を実施しました。</li> <li>参加者アンケートで「良かった」と答えた人の割合は96%でした。</li> </ul>
<p>2 町内会・自治会への加入促進支援（まちづくり推進室）</p>	<p><b>評価C</b></p>
<p>区政協力委員研修会において、「町内会・自治会加入促進の手引き」を説明して、町内会・自治会への加入を促進するため支援します。広報なごやへの記事を掲載するほか、市民課窓口にてチラシを配付するなど、転入者に対する働きかけをします。また、大規模マンションの販売業者等に対して、入居者の町内会加入について働きかけを依頼します。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会への加入促進を支援し、加入率アップを目指します。（天白区 22 年度町内会：自治会加入率 67.6%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「加入しませんか 町内会・自治会」チラシの「ようこそ名古屋へ」への挟み込みや「広報映像配信システム」を利用した啓発など、地道に啓発を行ないました。</li> <li>住宅都市局に大規模分譲マンションの建築情報の提供依頼（年4回）をし、そのマンションの販売会社に町内会の加入依頼をしました。（実績2件）</li> <li>加入率は65.8%となり、平成22年度を下回りました。</li> </ul>
<p>3 地域活動・市民活動支援（まちづくり推進室・企画経理室）</p>	<p><b>評価C</b></p>
<p>町内会・自治会などの団体が行う地域活動を支援します。また、「いつまでも住み続けたい天白区づくり支援事業補助金」や、2学区以上にまたがって防犯や交通安全などの安心・安全・快適まちづくり活動を行っている団体への補助金交付などを通じて、地域や市民の活動を支援します。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いつまでも住み続けたい天白区づくり支援事業」について、新規事業の発掘に努めます。</li> <li>天白区における「地域活動・市民活動が盛んであると感じている区民の割合」の向上 60%（区政モニター調査結果、平成 22 年度 55.2%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が実施する交通安全活動や防犯活動に参加し、啓発活動の支援を行ないました。</li> <li>安心・安全で快適なまちづくり活動を実施している市民団体へボランティア袋の提供等、協力・支援を行ないました。また、地域活動を行っていくうえでの困りごとの相談に随時対応しましたが、23年度の区政モニター調査において、「地域活動・市民活動が盛んであると思う」と回答した割合が、49.1%に下がりました。</li> <li>「いつまでも住み続けたい天白区づくり支援事業」で支援した6事業のうち、2事業が新規事業でした。</li> </ul>
<p>4 団塊の世代等の地域活動・市民活動への参加支援（まちづくり推進室・生涯学習センター）</p>	<p><b>評価B</b></p>
<p>団塊世代の地域活動への参加を促し、人的ネットワークの構築にも役立つ講演会などをセンターまつりに合わせて開催します。また、地域活動への参加を促進する事業「第二の成人式」の開催を支援します。</p> <p>テンパク・テニユアに登録されている団塊の世代を中心としたボランティアのみなさんに、生涯学習センターで開催する講座や講演会の講師役を担当していただくなど、その能力を発揮していただく場を設けます。団塊の世代の方々や地域をつなぐための取組みを積極的に支援します。</p> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テンパク・テニユア登録者に活躍していただく講座を5講座以上開催します。</li> <li>団塊の世代の方々などの貴重な知識・経験を地域に生かせるよう支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団塊の世代の地域活動への参加を促し、人的ネットワークの構築にも役立つ講演会を開催し、大勢の方に参加していただきました。</li> <li>テンパクテニユア登録者にシニア英会話教室など7つの講座と「うたとピアノとおはなし」などの3つの催事を開催していただきました。また、図書館、イキイキサロンからの要請にこたえ講演会の講師を紹介しました。</li> <li>テニユア登録者の活躍の場をいくつか確保し、テニユアの皆さんの持つ知識や技術などを地域の皆さんへお伝えしました。</li> </ul>

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
5 「天白区まちづくりサポータークラブ」との協働事業（まちづくり推進室）	<b>評価A</b>
<p>平成 22 年度にスタートした「天白まちづくりサポータークラブ」のメンバーとともに学習会・意見交換を重ねます。また、親子を参加対象とした「天白だいきプロジェクト～アート DE こいのぼり」の開催など、具体的な事業を企画段階から協働で立案、実施します。</p> <p>【目標】 ・満足度 90%（事業参加者へのアンケート結果）</p>	<p>・4月23日に「天白だいきプロジェクト～アートDEこいのぼり～」を実施し、参加者アンケートで「良かった」と答えた人の割合は100%でした。</p> <p>・企画会議及び世話人会を10回開催し、具体的に実施する事業について企画立案や意見交換を行うとともに、会則及び役員を決定しました。</p> <p>・区政モニターと合同で施設見学会を開催するとともに、メンバーの提案により、天白区区民まつりにブース出展を行いました。</p>
6 地域の“まちづくりびと”養成講座の開催(まちづくり推進室)	<b>評価A</b>
<p>天白区のまちづくりを進めるため、積極的にまちづくり活動に取り組む担い手を育て、更に地域における住民主体のまちづくり活動の輪を広げていくことを目的とした講座を、名古屋都市センターと連携して開催します。講座の内容は、区役所と名古屋都市センターの職員に加え、「まちづくりサポーター」と「まちづくりびと」の中から募った有志が実行委員となり、協働でプログラムを企画立案します。</p> <p>【目標】 ・講座満足度 80%以上（講座終了後のアンケート）</p>	<p>・名古屋都市センターと共催で8月から10月にかけて計7回、「天白川」を切り口とした「地域の”まちづくりびと”養成講座」を実施しました。</p> <p>・天白まちづくりサポータークラブのメンバーも講座の企画検討から運営まで参画し、延べ参加者192名、受講者アンケートで「良かった」と答えた人の割合は100%でした。</p>
☆ 商店街の地域イベントなどの活動支援(まちづくり推進室)	<b>評価B</b>
<p>商店街との連携を進めるため、「天白姫行列」、「バリバリ平針パレード」を始めとした、商店街主催の地域イベントを支援します。</p>	<p>・商店街の主催するイベントを支援しました。</p>
☆ コミュニティセンターへの整備支援(まちづくり推進室)	<b>評価B</b>
<p>表山コミュニティセンター開館(平成 23 年 11 月予定)に向け、地域の皆さんとともに準備を進めます。植田東学区については、整備に向け引き続き情報収集に努めます。</p>	<p>・表山コミュニティセンターの開館により、学区の地域活動の活発化に貢献することができました。</p>
☆ 市民参画による農業とふれあい交流する事業の推進（長野県中川村との交流事業）【再掲】（まちづくり推進室・民生子ども課）	<b>評価B</b>
<p>トウモロコシの収穫体験や中川村の収穫物で実施するソバ打ち体験などのふれあい・交流事業を支援します。</p>	<p>・中川村を訪問し、トウモロコシの収穫を体験することをはじめ、中川村の収穫物で実施するソバ打ち体験等ふれあい・交流事業を実施しました。</p> <p>・参加者アンケートで「良かった」と答えた人の割合は100%でした。</p>



平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
☆ 市民団体と連携した人権尊重・男女平等参画推進事業の推進(まちづくり推進室)	<b>評価B</b>
区内で活躍する「てんぱくプレーパークの会」「eコールてんぱく」などの市民グループと協働し、イベントや講演会を開催して、「人権尊重のまちづくり事業」や「区における男女平等参画推進事業」を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「eコールてんぱく」と協働し、男女平等参画推進事業を8月に開催し、参加者は46名、親子で入浴剤づくりをするなかで、男女平等参画について啓発活動を行いました。</li> <li>・「てんぱくプレーパークの会」と協働し、2月に講演会「自然とふれあい、人と出会い、遊んで子どもは育つ」を開催し、参加者は51名、子供の人権を尊重した子育てについて啓発活動を行いました。</li> </ul>
☆ 区内4大学との連携(まちづくり推進室)	<b>評価B</b>
区内4大学(名城大学、東海学園大学、名古屋女子大学、豊田工業大学)と協働して、まちづくりを進めるため、環境デーなごや、区民まつり、青色防犯パトロール出発式などの行事を学生と協働して実施する他、大学が主催する事業への支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月4日に開催された「クリーンキャンペーン」に名城大学、名古屋女子大学、東海学園大学、豊田工業大学の学生が参加しました。</li> <li>・11月1日に開催された「放置自転車クリーンキャンペーン」に名城大学ボランティア協議会が参加しました。</li> <li>・年間通して、名城大学ボランティア協議会が「地域防犯活動」を実施しました。</li> <li>・10月23日の区民まつりの運営ボランティアとして大学生75名が参加するとともに、名城大学、東海学園大学がそれぞれブース出展、名古屋女子大学がミニステージ出演を行いました。</li> </ul>
☆ 区内の小学校・中学校・高等学校との連携(まちづくり推進室)	<b>評価B</b>
天白川緑地を走る会への参加や青少年すこやかポスターの募集などで、区内の小学校・中学校と連携します。若宮商業高等学校に対して、区民まつりタイトルロゴの作成を依頼するとともに、出展を働きかけます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民まつりのタイトルロゴを若宮商業高等学校の生徒に作成していただくとともに、10月23日の区民まつりにて若宮商業高等学校がブース出展を行いました。</li> <li>・天白川緑地を走る会には、302名の小中学生から申込を頂きました。青少年すこやかポスターでは、180名の小中学生から応募がありました。</li> </ul>



### (3) 地域に密着した生涯学習・生涯スポーツの推進

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 団塊世代等の地域への能力活用【再掲】(生涯学習センター)</p> <p>テンパク・テニユアに登録されている団塊の世代を中心としたボランティアのみなさんに、生涯学習センターで開催する講座や講演会の講師役を担当していただくなどその能力を発揮していただく場を設けます。</p> <p>【目標】 ・テンパク・テニユア登録者に活躍していただく講座を5講座以上開催します。</p>	<p><b>評価 B</b></p> <p>・23年度も新たに4名のテニユアが登録してくれました。</p> <p>・テンパクテニユア登録者にシニア英会話教室など7つの講座と「うたとピアノとおはなし」となどの3つの催事を開催していただきました。また、図書館、イキイキサロンからの要請にこたえ講演会の講師を紹介しました。</p> <p>・テニユア登録者の活躍の場をいくつか確保し、テニユアの皆さんの持つ知識や技術などを地域の皆さんへお伝えしました。</p>
<p>2 地域と一体になった主催講座の充実(生涯学習センター)</p> <p>区内4大学(東海学園大学、豊田工業大学、名古屋女子大学、名城大学)の協力を得て、共催講座・講演会を開催します。また、なごや学マイスター講座を開設するとともに、天白区における地域課題の解決を目指す講座を開催します。</p> <p>【目標】 ・天白区の課題の解決に役立つ講座を新たに開設します。</p>	<p><b>評価 C</b></p> <p>・区内3大学(東海学園大学、名古屋女子大学、名城大学)と共催講座・講演会を開催しました</p> <p>・区の課題として取り組んだ「深めよう！親子のきずな 地域のきずな」の講座について、父親と子供が対象ということで予想以上に応募者が少なく、今後に課題を残す形となりました。</p>
<p>☆ 生涯学習センターにおける自主グループ等に対する支援(生涯学習センター)</p> <p>年間を通じて自主講座開設の支援を行うとともに、活動グループの日頃の学習の成果を発表する場をセンターまつり等で確保します。スポーツ交流会を継続して開催します。</p> <p>【目標】 ・10以上の自主グループに自主講座を開設してもらうよう努めます。</p>	<p><b>評価 B</b></p> <p>・前期に5グループ、後期に8グループの合計13グループの自主講座が開催され、多くの新入会員が引き続きグループ活動に加わることとなりました。</p>
<p>☆ 文化・スポーツ団体の活動支援(まちづくり推進室)</p> <p>各種スポーツ団体の大会や文化団体の展覧会・発表会などの開催を支援します。また、各団体との交流や情報交換を緊密にし、関係強化を目指します。</p> <p>【目標】 ・「スポーツ活動が盛んである」、「文化・芸術活動が盛んである」と感じている区民の割合の向上(区政モニター調査結果 平成22年度スポーツ活動41.3%、文化・芸術活動37.0%) ・美術展の出品点数 前年度比10%以上増加(平成22年度135点)</p>	<p><b>評価 A</b></p> <p>・美術展・華道展や各種スポーツ大会の開催・支援を通じて、スポーツ・文化活動の振興を図りました。</p> <p>・23年度区政モニター調査において、「スポーツ活動が盛んである」と回答した方の割合は48.1%、「文化・芸術活動が盛んである」と回答した方の割合は38.9%でした。</p> <p>・美術展の出品点数は、前年度比23.7%増加しました。</p>
<p>☆ 地域ジュニアスポーツクラブの支援(まちづくり推進室)</p> <p>既に実施されている地域ジュニアスポーツクラブの活動を支援するとともに、新たな地域ジュニアスポーツクラブの設立に向けた活動を支援します。また、地域ジュニアスポーツクラブ同士の交流を支援します。</p>	<p><b>評価 B</b></p> <p>・4月に種目の追加があり、区内のジュニアスポーツクラブ数が1つ増加して32になりました。</p> <p>・2月のドッジボールの交流大会を支援しました。</p>

## 施策5 親しまれ、信頼される区役所づくり

### (1) お客様の目線に立った、窓口サービスの改善

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 窓口サービスの向上、お客様の声を生かした窓口づくり (総務課)</p> <p>区独自の庁内案内マニュアルを活用するほか、窓口案内表示をより分かりやすくする工夫をします。 「明日への提案箱」にいただいたご意見に対しては、すみやかに改善策を検討し、集約日から2週間以内をめどに、回答を掲出します。また、お客様満足度を把握するための窓口アンケートを毎年2回実施し、効果測定をして窓口改善に引き続き取組みます。</p> <p>【目標】 ・お客様満足度 90%(お客様窓口アンケート結果)</p>	<p><b>評価A</b></p> <p>・区民のみなさんからのご意見により、喫煙場所を庁舎の外に設置したほか、2階の待合スペースにキッズひろばを設置しました。 ・展示スペースの設置や情報コーナーを整理し、情報ひろばとしてオープンしました。 ・お客様満足度 97.3%(平成23年11月実施)、95.5%(平成23年5月実施)</p>
<p>2 届出・申請「ワンストップ」窓口の検討(市民課・総務課)</p> <p>引越しや結婚、出生などのライフイベントに伴う複数の届出・申請について、「ワンストップ」窓口の検討を進めます。 まず、対象とするライフイベント毎の必要な手続きを分かりやすく示し、窓口配置図も記載したスタンプラリー形式の案内書を作成し、迷わず確実に手続きを済ませていただける窓口案内をします。</p> <p>【目標】 ・わかりやすく手続き漏れのない適切な案内を実施します。</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・レイアウト変更と事務の流れの見直しによりお客様が市民課から保険年金課への一度の移動で手続きできるとともに、スタンプラリー形式の案内書とあわせ、わかりやすく確実に手続きしていただけるようになりました。</p>
<p>3 区役所庁舎のレイアウトなどの改善(市民課・保険年金課・総務課など)</p> <p>多くのお客様が訪れる市民課および保険年金課の職員を中心メンバーとする検討委員会により、わかりやすい案内サインの整備、待合スペースの拡充、届出・申請受付をスムーズにやりとりする窓口の設置、ローカウンター相談窓口の拡大など、理想的な1階フロア(市民課・保険年金課)のあり方および業務の進め方について検討します。</p> <p>【目標】 ・来庁されるお客様が快適に利用いただける窓口・待合スペースの整備を進めます。</p>	<p><b>評価B</b></p> <p>・レイアウト変更により、待合スペースを拡大し、申請の際、座ってお待ちいただけるようになりました。また、レイアウト変更に伴って、サイン表示を新しくしました。 ・申請の受付はローカウンターを配置し、座って相談いただけるようになりました。</p>

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>☆ お客様の利便性向上と窓口混雑緩和のための情報提供（市民課）</p> <p>フロアでお客様が迷われないよう、窓口や申請書の記載方法などをフロアサービス担当がご案内します。日曜窓口を開設するほか、広報なごや・庁内掲示を利用して、区役所以外で証明書を請求できるサービスや、2～4月の混雑予想などを情報提供し、窓口の混雑緩和を図り、待ち時間の短縮に努めます。</p> <p>【目標】 ・お客様の利便性向上と窓口混雑緩和、待ち時間の短縮を図ります。 (窓口アンケートによるお客様満足度 90%以上)</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レイアウト変更に伴う待合フロアと事務室の配置見直しができ、座ってお待ちいただく環境が整い利便性が向上しました。</li> <li>・お待ちいただく時間を、端末や繁忙時の職員の配置により短縮できました。</li> <li>・待合が広くなりましたが、柱の位置により発券機や受付がわかりづらいという声があります。</li> <li>・窓口アンケート満足度90%以上を達成できました。</li> </ul>
<p>☆ お客様が気持ちよく利用できる区役所づくり（総務課・市民課）</p> <p>玄関や窓口、トイレをきれいにするなどお客様が気持ちよく利用できる区役所にしていきます。汚れたり、劣化した番号札を作り直し、裏面に市民課情報を掲載します。また、老朽化した処理ケースホルダーも見直し、書類の散逸防止を図ります。</p> <p>【目標】 ・清潔感を持った親切的な窓口を目指します。 (窓口アンケートによるお客様のご意見より)</p>	<p style="text-align: center;"><b>評価A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階トイレの掃除回数を増やすなどお客様が気持ちよく利用できる庁舎となるよう努めました。</li> <li>・駐輪場の整理を行い、自転車を置きやすくしました。</li> </ul>

## (2) 区民の声を反映した区政の運営

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 区政に関する区民との意見交換の促進(まちづくり推進室・企画経理室など)</p> <p>区政協力委員協議会、民生委員児童委員協議会会長連絡会、保健委員会を区政の重要課題について提言していただく場として位置づけ、協働して課題の解決に取り組めます。</p> <p>また、「天白区を住みよくなる会」と連携し、その要望活動を支援します。あわせて、区役所が事業や取組みを行う場合は、参加者アンケートや、一般募集した「区政モニター」のご意見を参考にして区政の運営を進めます。</p> <p>【目標】 ・区役所の仕事ぶりについて「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と感じている区民の割合の向上(区政モニター調査結果 22年度 29.3%)</p>	<p><b>評価A</b></p> <p>・区政モニターや事業実施時には参加者アンケートを実施して、意見聴取をするなど、区民ニーズの把握に努めました。</p> <p>・「天白区を住みよくなる会」の要望事項の集約や検討及び要望行動の支援を行いました。引き続き、区民とのコミュニケーションの促進に努め、協働によるまちづくりをすすめます。</p> <p>・23年度の区政モニター調査において、「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と答えた人の割合は44.6%でした。</p>
<p>2 「おでかけ区役所」として区長・部長級職員等による出前ミーティングの実施(まちづくり推進室)</p> <p>学区連絡協議会などの会議に区長・部長級職員がお伺いして、区政に関する方針などを説明するとともに、学区のみなさんのご意見をお聞きする出前ミーティングをすべての学区で実施します。</p> <p>【目標】 ・区役所の仕事ぶりについて「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と感じている区民の割合の向上(区政モニター調査結果 22年度 29.3%)</p>	<p><b>評価A</b></p> <p>・「おでかけ区役所」として、区長・部長級職員等による出前ミーティングを実施しました。</p> <p>・各学区で出された意見・要望等に回答するとともに、区役所においても取りまとめた意見・要望を、部課長会を通じ配布しました。</p> <p>・23年度の区政モニターの「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映されている」と回答した割合が、44.6%でした。</p>
<p>3 区の自治的な機能・総合行政機能の強化(企画経理室)</p> <p>区が自主的・主体的に行政サービスや区民生活の向上に取り組むため、区の重点的な取組みや目標を明確にした「区政運営方針」を策定して公表し、進行管理を行います。</p> <p>区役所庁舎敷地の自動販売機設置用地としての貸付料や庁舎壁面の広告掲出による広告料収入など、区役所独自で収入を確保します。また、区役所と区内公所等が「区政推進会議」などの場で情報交換や協議を行い、連携して地域課題の解決に努めます。</p> <p>【目標】 ・自主財源確保のための新たな取組みを進めます。</p>	<p><b>評価C</b></p> <p>・平成23年5月に策定・公表した「区政運営方針」の各事業・取組みについて進行管理を行うとともに、23年度末にはそれぞれの達成状況などをとりまとめ、区民の意見等とあわせて24年度の区政運営方針に反映させました。</p> <p>・自動販売機や広告付区内案内地図などを設置し、広告料収入などの自主財源を確保しました。</p> <p>・自主財源確保のための新たな取組みを進めようとすることはできませんでした。</p>
<p>4 広報なごや区版・区ホームページの充実(まちづくり推進室)</p> <p>広報モニターや区政モニターなどの意見を参考に、区民のニーズや関心が反映された読みやすい紙面づくり・ホームページづくりをします。</p> <p>【目標】 ・「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と答える人の割合の向上(区政モニター調査結果 22年度 30.1%)</p>	<p><b>評価A</b></p> <p>・広報なごや区版カラー化にあわせて、より良い紙面づくりの検討を行うとともに、天白区の魅力発見コーナーとして事例紹介や、東日本大震災義援金募集、節電の呼びかけなど、時期に応じた啓発記事等を掲載しました。また、ホームページに事業紹介や募集記事等を適宜掲載し、広く情報発信できるように努めました。</p> <p>・23年度区政モニター調査において、「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と答えた人の割合は37.5%でした。</p>
<p>☆ 区の広報・情報提供手段の充実・多様化(まちづくり推進室・企画経理室)</p> <p>区民のみなさんと協働でまちづくりを進めるため、区からの情報発信が重要となっていることから、テレビ、新聞、ミニコミ紙などへ積極的に情報提供し、幅広い広報に努めます。</p> <p>民間からの広告料を財源として、液晶ディスプレイや区内の地図を利用した情報提供を市民課の待合スペースなどで行います。</p> <p>【目標】 ・「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と答える人の割合の向上(区政モニター調査結果 22年度 30.1%)</p>	<p><b>評価A</b></p> <p>・行事等に際して、各報道機関へ情報提供を行い、16件の掲載・放映実績がありました。</p> <p>・23年度区政モニター調査において、「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と答えた人の割合は37.5%でした。</p>

### (3) 区民の満足度を高める人材の育成

平成23年度当初の取組み計画	取組みの成果
<p>1 コンプライアンス（法令遵守）の推進（総務課・企画経理室）</p> <p>現金・金券類の取り扱いや物品購入時の契約・検査方法など、契約・経理事務に関する各職場のチェック体制を毎月点検します。各職場において、適正かつ効率的な契約・経理事務が行われるように、区役所職員を対象とした契約・経理事務研修を行います。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回各職場のチェック体制の点検を実施します。</li> <li>年2回以上、契約・経理事務研修を実施し、併せて各職場ごとの研修を実施します。</li> </ul>	<p><b>評価B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回の職場チェックが全課で実施することができました。</li> <li>契約・経理事務研修を3回開催し、事務能力の向上に努めました。</li> <li>情報保護などコンプライアンスに関する係ごとの研修や朝礼、係会での周知などを実施しました。</li> </ul>
<p>2 人材育成、職員研修の充実（総務課）</p> <p>職員の接遇マナー向上に向けて、外部講師による実践的な接遇研修を実施します。また、新規採用職員研修は天白区の歴史や区内の施設見学など、天白区の魅力を知り、業務に役立てるよう内容の充実を図ります。AED研修や交通安全研修などを実施し、職員の危機管理能力を向上させます。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全職場で職場内研修(OJT)を継続的に実施します。</li> </ul>	<p><b>評価A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接遇研修は、窓口対応調査を実施し、その結果に基づき外部講師による実技と講義を受け、窓口対応調査結果は全課で共有し、接遇対応に役立てることができました。</li> <li>23年度の新たな取組みとして、天白区探訪研修、留学生との交流会、次世代育成支援研修を企画実施しました。</li> <li>人権研修は全員を対象とした職場内研修と講座の2本立てとして取組みを強化し、人権問題の意識付けとなりました。</li> <li>AED研修は職場内研修では十分な内容のものができないため、消防局救命講習参加という形式にして実施しました。</li> </ul>
<p>3 職員の意欲を高める風土づくり（総務課）</p> <p>朝礼などで「あいさつ運動」に取り組んでいきます。また、区長ほか幹部職員が各課の朝礼に出向き、職員に対して、組織目標や区として目指す方向性について、継続的に語りかけるほか、区長と新規採用職員の交流会を実施します。他の職員の模範として推奨すべき職員を的確に選別して表彰することで、職場の活力を増進します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員が意欲を持って職務に精励する、活気ある職場を構築するとともに、職員満足度をアップさせることにより、お客様満足度をアップさせます。（市民満足度 90%（お客様窓口アンケート））</li> </ul>	<p><b>評価B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全職場で朝礼を行い、「あいさつ運動」に取り組みました。</li> <li>すみやか業務改善選考会を実施し、11事例の取組み発表がありました。</li> <li>天白区役所職員表彰では顕著な功績があり、他の職員の見本となる職員として、被災地支援職員6名を表彰しました。</li> <li>お客様満足度 97.3%（平成23年11月実施）、95.5%（平成23年5月実施）</li> </ul>
<p>☆ 継続的な事務改善（総務課）</p> <p>市役所全体で、取り組んでいる「さわやか市民サービス運動」「すみやか業務改善運動」「すこやか風土改革運動」に継続的に取り組みます。</p>	<p><b>評価B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員の総実勤務時間は非常配備の実施などにより目標達成はできませんでしたが、昨年より短縮を図ることができました。（1月末現在目標超過率13%、前年実績比▲15%）</li> <li>節電については照明の間引きや室温の設定温度管理などで、20%の目標は達成できませんでしたが、昨年よりほぼ10%削減することができました。</li> </ul>